

静岡県認定農業者協会だより

VOL : 38
2019年6月

〒420-0853 静岡市葵区追手町9-18（静岡中央ビル7F）
静岡県認定農業者協会（事務局：（一社）静岡県農業会議 森下・山城）
TEL 054-255-7934 FAX 054-273-4314

静岡県認定農業者協会 第16回通常総会 農林水産省経営政策課長等による記念講演を実施！！



水崎会長挨拶

静岡県認定農業者協会の第16回通常総会が、令和元年5月21日、静岡県農業共済会館会議室において開催され、令和元年度の事業計画や収支予算等が審議され、原案のとおり承認された。

また、総会終了後には、認定農業者組織拡充のための研修の場として、農林水産省の依田経営政策課長等の講演が行われ、農業の未来を切り拓くための3つのポイント、認定農業者への支援策、他県認定農業者組織の特徴的な取組等が紹介された。

1 静岡県認定農業者協会 令和元年度の主要事業

(1) 第22回全国農業担い手サミット in しずおかに向けた着実な準備と運営

- ・会員各自がサミットを誘致した組織の一員としての自覚を持ち、実行委員会において主体的に企画提案を行う。
- ・地域運営委員会においては、山形サミット等への参加経験を生かして、情報交換会や現地研修会の実施に向けた話し合いや大会当日の運営をリードする。

(2) 認定農業者組織の拡充

- ・未加入の市町認定農業者組織を個別に訪問し、当協会事業への参加や加入を要請する。
- ・サミット地域運営委員会において、会員自らが未加入の市町認定農業者組織の会員に対して、当協会への加入を積極的に働きかける。
- ・静岡県認定農業者協会だよりを県内全ての認定農業者に配布することで、サミット準備の状況や当協会の活動の周知を図る。5,129部×3回



総会での審議の様様

(3) 政策提案活動

- ・農業政策に対する会員組織の意見や要望を集約し、国や県に対して政策提案を行う。
- ・未加入の市町に対しても政策提言活動への参加を要請し、幅広い認定農業者の意見を集約し提案していく。

2 記念講演

(1) 農業の未来に向かってー農業の新しい働き方ー

農林水産省経営局経営政策課 課長 依田 學 氏

- ・平成元年に 324 万人であった基幹的農業従事者は、平成 30 年には 145 万人にまで減少し、40 歳以下の割合は 1 割に留まっている。また、農畜産業の有効求人倍率は、全産業の平均を上回って推移しており、人手不足が深刻化している。
- ・農業の人手不足を打破し、農業の未来を切り拓くには下記の 3 つがポイントとなる。
 - ① AI やロボット等の先端技術を活用した「スマート農業」
 - ② 農地の集積・集約化
 - ③ 女性など多様な人材が活躍できる環境づくり
- ・認定農業者は、平成 30 年 3 月現在で全国に 240,665 経営体おり、農業の中核的な存在となっている。国は、経営所得安定対策や強い農業・担い手づくり総合支援交付金等で支援している。



依田課長の講演風景

(2) 全国の認定農業者組織の活動状況と今後の取組について

一般社団法人全国農業会議所農政・経営対策部 考査役 東郷 恵太 氏



東郷考査役の講演風景

- ・認定農業者の全国組織である全国認定農業者協議会は、19 県が会員となり、相互研鑽、研修活動等に取り組むとともに、近年は、農林水産省幹部職員と農政の主要施策に関する意見交換会を行っている。
- ・会員の 19 県の活動は、農業政策に対する要望活動や研修会が中心となっている。また、特徴的な取組としては、秋田県の経営改善研修会、茨城県の認定農業者躍進大会、熊本県の女性部の活動等が挙げられる。

農業振興公社からのお知らせ

農地の貸借には農地中間管理事業を利用しましょう!!

- ・県内で農地中間管理事業を利用した農地の貸借が増えています。
 - ・平成 26～30 年度の間に、**3,090 人(延べ)**の担い手の方に **26,387 筆、2,579ha** の農地を公社から貸し出しました。
 - ・貸し出した農地は、**水田 1,515ha、茶園 384ha、野菜 256ha** 等です。
 - ・今年の秋からは法律の一部改正により、手続きが簡素化されます。
- お問い合わせは、**農業振興公社、市町、農業委員会、JA** へ。

静岡県農業振興公社 理事長 大谷徳生